



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社  
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

TEL 0268-82-3000  
 平成26年12月8日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,841	21.8	1,250	60.3	1,679	65.5	1,487	83.5
26年3月期第2四半期	14,645	△10.0	779	△30.5	1,014	37.8	810	44.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,639百万円 (60.1%) 26年3月期第2四半期 1,023百万円 (109.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	74.65	74.02
26年3月期第2四半期	40.76	40.36

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	44,104	26,041	58.9
26年3月期	42,422	24,599	57.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 25,966百万円 26年3月期 24,528百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	4.6	1,700	5.4	1,700	△14.3	1,400	△7.4	70.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	22,272,000 株	26年3月期	22,272,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,313,129 株	26年3月期	2,379,988 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	19,925,448 株	26年3月期2Q	19,892,119 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による一時的な景気の落ち込みは見られましたが、政府の経済政策の効果や底堅い設備投資需要などにより景気は回復基調にあります。

当社グループが所属する射出成形機業界におきましては、国内の設備投資需要に加え、北米地域を中心に需要が堅調に推移しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機の需要が堅調に推移したこと等により売上高合計は178億4千1百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が134億2千7百万円（前年同四半期比19.8%増）、周辺機器売上高が14億3千3百万円（同74.6%増）、部品売上高が24億5千7百万円（同9.7%増）、金型等の売上高が5億2千3百万円（同38.4%増）とそれぞれ増加しました。

利益面につきましては、射出成形機等の売上高が堅調だったことから営業利益は12億5千万円（前年同四半期比60.3%増）となりました。また、円安による為替差益3億1百万円を計上したこと等により、経常利益は16億7千9百万円（前年同四半期比65.5%増）となり、これらの結果、四半期純利益は14億8千7百万円（同83.5%増）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

## ① 日本

自動車関連等の需要が堅調だったことから売上高（外部売上高）は90億3千4百万円（前年同四半期比8.3%増）、セグメント利益は7億4千2百万円（同39.3%増）となりました。

## ② アメリカ地域

自動車関連等を中心に需要が好調だったことから売上高（外部売上高）は44億6千6百万円（前年同四半期比33.0%増）、セグメント利益は3億3千8百万円（同106.1%増）となりました。

## ③ アジア地域

東南アジア地域の需要が低水準で推移したものの東アジア地域でIT関連等の需要が堅調であったことから売上高（外部売上高）は43億4千1百万円（前年同四半期比47.4%増）と増加しましたが、価格競争の激化等によりセグメント利益は1億1百万円（21.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債および純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億8千1百万円増加し、441億4百万円となりました。主たる増加要因は、現金及び預金の増加7億5千6百万円および受取手形及び売掛金の増加3億6百万円ならびに商品及び製品の増加2億円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億4千万円増加し、180億6千2百万円となりました。主たる増加要因は、支払手形及び買掛金の増加6億5千3百万円であり、主たる減少要因は、長期借入金の減少2億6千万円および退職給付に係る負債1億4千1百万円の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億4千1百万円増加し、260億4千1百万円となりました。主たる増加要因は利益剰余金の増加12億6千3百万円であります。

## ② 連結キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、16億5千4百万円（前年同四半期実績は△1億7千5百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前四半期純利益17億7千8百万円および仕入債務の増加額2億7千6百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、売上債権の増加額3億9千4百万円およびたな卸資産の増加額1億1千万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△4億5千7百万円（前年同四半期実績は△6億5千7百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出3億8千万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△4億7百万円（前年同四半期実績は4億6千6百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出2億6千万円および配当金の支払額1億1千9百万円であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ4億3千3百万円増加し、74億3千1百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、本資料の開示時点において、平成26年5月9日に公表した各予想値を修正しておりません。当第2四半期連結累計期間において、当期純利益は通期予想値を超過しておりますが、これは主として為替相場の変動に伴うものであることから、現時点では当初予想値を修正しておりません。

今後、受注状況や環境要因の変化等を勘案し、業績予想の修正が必要と判断される場合には、可及的速やかに開示することといたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用方針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、割引率の基礎となる期間の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した変数とする方法から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、上記変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が104百万円増加し、利益剰余金が同額減少しております。これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,677	7,434
受取手形及び売掛金	10,112	10,419
商品及び製品	6,307	6,508
仕掛品	2,814	2,885
原材料及び貯蔵品	3,616	3,501
未収入金	2,217	2,213
その他	792	1,105
貸倒引当金	△214	△224
流動資産合計	32,324	33,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,641	2,570
機械装置及び運搬具(純額)	1,131	1,062
土地	4,576	4,574
その他	309	560
有形固定資産合計	8,658	8,768
無形固定資産	354	323
投資その他の資産		
投資有価証券	940	1,014
その他	171	182
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	1,084	1,170
固定資産合計	10,098	10,262
資産合計	42,422	44,104
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,776	10,429
1年内返済予定の長期借入金	521	521
未払法人税等	85	62
引当金	295	306
その他	1,670	1,642
流動負債合計	12,348	12,962
固定負債		
長期借入金	1,725	1,465
退職給付に係る負債	3,367	3,225
その他	381	409
固定負債合計	5,474	5,100
負債合計	17,822	18,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,488	5,478
利益剰余金	14,750	16,014
自己株式	△1,141	△1,109
株主資本合計	24,459	25,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	262
為替換算調整勘定	84	69
退職給付に係る調整累計額	△229	△110
その他の包括利益累計額合計	69	220
新株予約権	70	75
純資産合計	24,599	26,041
負債純資産合計	42,422	44,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	14,645	17,841
売上原価	10,490	12,640
売上総利益	4,154	5,201
販売費及び一般管理費	3,374	3,951
営業利益	779	1,250
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	8	10
為替差益	141	301
その他	90	121
営業外収益合計	250	440
営業外費用		
支払利息	10	6
その他	4	4
営業外費用合計	15	11
経常利益	1,014	1,679
特別利益		
退職給付制度終了益	—	99
特別利益合計	—	99
税金等調整前四半期純利益	1,014	1,778
法人税等	186	291
少数株主損益調整前四半期純利益	828	1,487
少数株主利益	17	—
四半期純利益	810	1,487

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	828	1,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65	49
為替換算調整勘定	129	△15
退職給付に係る調整額	—	118
その他の包括利益合計	195	151
四半期包括利益	1,023	1,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,015	1,639
少数株主に係る四半期包括利益	7	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,014	1,778
減価償却費	383	354
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	94	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△126
受取利息及び受取配当金	△17	△17
支払利息	10	6
売上債権の増減額(△は増加)	2,162	△394
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,199	△110
未収消費税等の増減額(△は増加)	233	33
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,490	276
その他	△50	105
小計	144	1,915
利息及び配当金の受取額	17	18
利息の支払額	△5	△6
法人税等の支払額	△331	△272
営業活動によるキャッシュ・フロー	△175	1,654
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△570	△380
有形固定資産の売却による収入	1	9
無形固定資産の取得による支出	△69	△64
その他	△18	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657	△457
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	—
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△147	△260
配当金の支払額	△178	△119
自己株式の取得による支出	△0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△107	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	466	△407
現金及び現金同等物に係る換算差額	111	△33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△255	756
現金及び現金同等物の期首残高	7,252	6,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,997	7,431

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	8,342	3,357	2,944	14,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,179	27	2,010	8,217
計	14,522	3,385	4,955	22,863
セグメント利益	533	164	129	826

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	826
セグメント間取引消去	△46
四半期連結損益計算書の営業利益	779

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	9,034	4,466	4,341	17,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,972	4	2,322	9,299
計	16,006	4,470	6,663	27,140
セグメント利益	742	338	101	1,183

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,183
セグメント間取引消去	67
四半期連結損益計算書の営業利益	1,250

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。